



今日のトピック 業績の下方修正を織り込む米国株式市場

下振れ度合いを確認しながらの展開か

ポイント1 年前半は大幅下落

上昇したセクターはエネルギーだけ

- 今年前半（昨年末から本年6月末）の米国株式市場は、大幅な調整を記録しました。S&P500種指数は▲20.6%、NYダウは▲15.3%、NASDAQ総合指数は▲29.5%の下落となりました。S&P500種指数を業種別に見ると、上昇はエネルギーのみで+29.2%です。一般消費財・サービス、コミュニケーション・サービス、情報技術、不動産の下落率はS&P500種指数を上回りました。

【今年前半の株価変化率】

	21年12月末	22年6月末	変化率 (%)
NYダウ (米ドル)	36,338.30	30,775.43	▲ 15.3
NASDAQ総合指数	15,644.97	11,028.74	▲ 29.5
S&P500種指数	4,766.18	3,785.38	▲ 20.6
エネルギー	422.74	546.24	▲ 29.2
公益事業	363.71	356.45	▲ 2.0
生活必需品	804.60	750.05	▲ 6.8
ヘルスケア	1,643.92	1,494.31	▲ 9.1
資本財・サービス	894.96	738.41	▲ 17.5
素材	569.63	463.16	▲ 18.7
金融	650.04	523.35	▲ 19.5
不動産	324.76	255.77	▲ 21.2
情報技術	3,055.45	2,222.96	▲ 27.2
コミュニケーション・サービス	267.48	186.03	▲ 30.5
一般消費財・サービス	1,610.76	1,077.78	▲ 33.1

(注) NASDAQ総合指数、S&P500種指数の単位はポイント。変化率 (%) は2021年12月末～2022年6月末。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

**ポイント2 4-6月期の業績は除くエネルギーで減益見通し**

- 5月までの株価調整は、総じて企業業績が堅調な中、金融政策の正常化に拍車がかかり、長期金利の水準が3%台まで上昇する過程で、割高だったバリュエーションの修正が進んだことが背景と考えられます。
- しかし、年初来安値を更新した6月は業績の下方修正が目立ちました。6月に入ってから株価下落は、景気後退懸念と業績見通しの悪化が拍車をかけた可能性があります。S&P500種指数採用企業の22年4-6月期の業績見通しは、エネルギーを除いたベースで前年同期比▲2.4%と20年7-9月期以来の減益となる見通しです。20年の減益期間は1-3月期～7-9月期の3四半期で、同時期は新型コロナウイルスのパンデミックによる景気後退局面と重なります。現在も、景気後退懸念と業績悪化見通しが高まりつつある局面と考えられます。

**今後の展開 業績の下振れ度合いを確認しつつ下値堅めを模索**

- 米国は7月中旬以降、4-6月期決算の発表が本格化しますが、足元では、全期間が上振れ予想となっているエネルギーを除いて、業績予想の下方修正が続いています。業績悪化はある程度織り込まれた可能性はありますが、景気後退局面入りの懸念が広がっているだけに、市場は業績の上振れよりも、もう一段の下振れを織り込む展開となる可能性があります。米国株式市場は業績の下振れ度合いを確認しながら下値堅めを模索する展開となりそうです。

**【S&P500種指数採用企業の業種別業績見通し】**

(前年同期比、%)

	2021年	2022年				2023年	
	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 予想	7-9月 予想	10-12月 予想	1-3月 予想	
一般消費財	54.1	▲ 27.9	▲ 4.4	28.7	6.4	69.9	
生活必需品	7.7	7.9	▲ 1.7	2.1	4.0	6.1	
エネルギー	12,611.0	269.5	<b>222.6</b>	<b>102.6</b>	<b>50.3</b>	<b>13.7</b>	
金融	9.9	▲ 17.1	▲ 19.6	▲ 4.4	1.4	12.7	
ヘルスケア	28.0	18.3	2.5	2.1	3.0	▲ 5.6	
資本財・サービス	43.8	40.5	30.6	33.8	48.2	37.0	
素材	64.2	46.3	18.8	16.0	9.8	▲ 5.3	
不動産	17.6	25.5	4.3	11.1	11.5	▲ 1.5	
情報技術	24.6	14.6	2.5	5.8	8.6	7.9	
コミュニケーション・サービス	16.6	▲ 2.8	▲ 14.2	▲ 3.2	2.3	7.3	
公益事業	▲ 1.3	24.6	▲ 12.1	▲ 6.8	14.8	▲ 10.0	
S&P 500	32.1	11.4	5.6	11.1	10.6	9.9	
(除くエネルギー)	23.5	5.2	▲ 2.4	5.8	7.9	9.3	

(注) データは2021年10-12月期～2023年1-3月期。2022年7月1日現在。

は2022年6月3日比での下方修正を示す。

(出所) リフィニティブのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここもチェック! 2022年6月28日 2022年7月の注目イベント  
2022年5月 9日 米国1-3月期決算は事前予想を上回る**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。